

個性豊かな作品が勢ぞろい！  
様々な人や風景との出会いから、手づくりの映画はできあがる。

上映会

# 潟の夢映画祭

11/30 (土)

14:00-

開場: 13:45-  
(16:30頃 終演予定)

ゆいぽーと

(新潟市芸術創造村・  
国際青少年センター)

2階 クリエイティブ  
スタジオ

新潟市中央区二葉町2丁目5932-7

入場料:

500円

(中学生以下無料)  
(入退場自由)



主催・お問い合わせ：  
潟の夢映画祭実行委員会  
katanoyume2018@gmail.com

<https://www.facebook.com/katanoyume/>

<https://twitter.com/katanoyume2018>



水と土の文化創造都市  
Creative City  
of Water and Land - Niigata

水と土の文化創造都市 市民プロジェクト2019の補助金を受けて実施しています

※活動の一環として、当日ドキュメンタリー映像の撮影をおこないます。予めご了承ください。  
※内容は変更になる場合がございます。  
※上映会は事前申込み不要です。当日、会場まで直接お越しください。  
※未就学児は保護者の同伴が必要です。

2019

# 「潟の夢映画祭 2019」は映画制作を通して参加者が夢を語り、他者と共有し楽しめる場をつくる活動です。

## 潟の夢映画祭とは：

「水と土の芸術祭 2015」に美術家友政麻理子が発起人となり実施された。参加者の市民が「潟の夢」を見て、その報告会をもとに短編映画を制作し、さらに映画館づくりと映画祭を実施。それらを通して対話などのコミュニケーションを生み出すアートプロジェクト。「水と土の芸術祭 2018」では市民プロジェクトとして復活し、新作映画の制作と上映に加え、プロジェクトメンバーによる企画「みずつちカルタづくり」も実施。今年(2019)もまた新たな参加者とともに新作短編映画が制作されている。



**友政 麻理子** 現代美術家・映像作家 HP | <http://www.tomomasa.info/>

コミュニケーション過程に現れる典型的な「型」に焦点を当て作品制作やワークショップを行う。近年は父と娘の食事のやりとりや、やまびこのような輪踊りのような風習、自主制作映画をモチーフに、公私や虚実のあわいから、他者との新たな関係を開く作品制作をしている。水と土の芸術祭 2015 招聘作家。市民との自主映画プロジェクト「潟の夢映画祭」(新潟市)、「知らない路地の映画祭」(東京都足立区)に取り組み、まちや人々を繋げる活動を行っている。

## 潟の夢映画祭 2019 上映予定作品： (変更になる場合がございます)



「潟の夢映画祭 2019 上映会実施まで」

編集・監督 高橋 秀彰

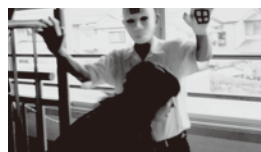
一般市民が水と土の芸術祭2015にてアーティストにより実施されたプロジェクトを引き継いで3年。潟の夢映画祭とは、映画作りのための一般的、手順的知識無しから始められる自主映画制作プロジェクトである。2019年7月から11月、参加者達の歩みを追った。



「礎窯2019 ONE MORE CUP STORY」

28分 編集・監督 高橋 秀彰

市民プロジェクトとは、地域の自然や歴史、文化の魅力を再発見し、地域への誇りや愛着づくりにつながる取り組みを進めるため、新潟市民自らが企画・運営する、まちづくりや地域活性化に繋がるプロジェクトの総称である。本作は市民プロジェクト、礎窯2019 ONE MORE CUP STORYにおける窯焚き(11/2~11/4)の様子、その一部である。



「都市伝説 田田くん」

11分 脚本・監督 樺澤 崇

都市伝説上のキャラクター田田くんに、女子高校生が追いかけるストーリーです。ジャンルとしてはホラーですが、どこかコミカルなシーンもあり誰でも楽しめる作品になっています。



「ゴミ捨て場のあの男」

11分 脚本・監督 石岡 夏帆

両親から愛されず若くしてホームレスになった男、山田太郎。学校にも通ったことのない"かわいそう"な彼にはたったひとつ"明るい"という強さがあった。心に悩みを抱える北山勉との出会いが変化を起こす。どれだけどん底でもひとつ希望があればきっと救われるのだと信じたい、そんな想いで作った。厳しい社会問題をどこかコミカルなキャラクターにのせてお届けしたい。"ゴミ捨て場のあの男"はどう変化していくのか。



「絵本を作る会」

10分 編集・監督 高橋 秀彰

生涯学習センター(クロスパルにいがた)にて、横山一枝さん(絵本作家)が月2回、開催している絵本を作る会。手作り絵本の他、紙粘土細工等の制作を参加者と一緒にやっている。笑顔いっぱいの教室の雰囲気と共に、絵本を作ろうとする"行い"に近寄ってみるドキュメンタリー作品。



「Mother」

5分 脚本・監督 山田 裕喜

離れて暮らす母にカメラを持って会いに行く私。新潟の風景、母、私、私の思い。モノローグと写真でつくられた新感覚フェイクドキュメンタリーをつくった。・・・つもり。

## ご協賛のお願い：

「潟の夢映画祭 2019」は「水と土の文化創造都市 2019 市民プロジェクト」として実施しておりますが、新潟市からの補助金のみでは必要な資金が不足しております。“夢”を投影した自主映画制作と発表をおこなう、「潟の夢映画祭」の活動を応援して下さる皆様にご協賛をお願いいたします。上映会実施のための資金として使用いたします。ご支援よろしく願いいたします。

潟の夢映画祭実行委員会代表 高橋 秀彰

### 協賛金

一口1,000円(何口でもお受けいたします)

### 店舗・企業の方

11/24(日)までに協賛のお申し出をいただいた店舗・企業様は、上映会当日会場内に広告を掲示いたします。また、協賛金一口につき一席、上映会時に招待者様席をご用意してご招待いたします。

### 協賛方法

ご協賛いただける方は、下記までご連絡ください。  
メール：[katanoyume2018@gmail.com](mailto:katanoyume2018@gmail.com)

### 個人の方

11/24(日)までに協賛のお申し出をいただいた方は、上映会当日会場内にお名前を掲示いたします。(掲載をご希望されない方は匿名希望の旨をお知らせください。)また、協賛金一口につき一席、上映会時に招待者様席をご用意して、ご招待いたします。